



石田 実 (70分)
水曜会

地域防災対策は

問 ① 自主防災組織の活動は。

② 防災士に求められる役割は。
③ 地域の防災活動をけん引する人材育成の取り組みは。

答 ① 平常時の訓練の実施や災害時の避難場所の自主開設など地域防災活動に積極的に取り組んできた。2020年度には全ての地

域で学区・地区防災（避難）計画を作成し、これに基づき地域特性に応じた防災訓練を実施している。
② 平常時には防災訓練の企画や参加など、災害時には初期消火、救出救助や避難所運営の支援など、自助・共助に基づく地域防災活動で中心的な役割が期待される。
③ 2013年から市独自で福山防災大学を開講している。2015年からは無料の防災士養成講座を開講し、316人が防災士として活躍している。また、定期的に外部講師を招いた防災研修会を実施している。



木村 素子 (60分)
水曜会

MICE戦略は

問 ① 産業MICEは。

② 福山駅周辺の空き店舗への取り組みは。

答 ① 多様な産業が集積する本市の強みを生かし、ものづくり分野の会議である産業MICEの誘致に取り組む。
② MICEを推進していく上で、

駅周辺の商店街は交流やおもてなしの舞台となる。1月に各商店街や福山商工会議所などが連携し主体的に活動する「中心市街地ネットワーク」を設立し、出店希望者に空き店舗や商店街に関する情報を提供するなど、エリアの魅力創出に向けた取り組みを開始した。また、5月には「中心市街地商店街マップ」を作成し、商店街のエリアや特徴などをわかりやすく紹介している。引き続き、出店希望者と商店街のマッチングに取り組み、駅周辺の空き店舗の解消につなげていく。



羽田 俊介 (60分)
水曜会

保育行政は

問 ① 保育士確保のための処遇改善は。

② 「産休・育休明け入所予約制度」のさらなる検討は。

答 ① 国の措置に加え、本市独自の加算により給与水準の向上を図っている。また、業務負担軽減のため保育補助者の雇用に係る経

費を助成し、離職の抑制や人材の確保に努めている。今後も広島県市長会を通じて国に要望していく。
② 本市では、これまで制度の充実により保護者の職場復帰を支えてきたが、女性の社会進出に伴い利用者が増加し、施設運営上の負担につながるなど課題も生じている。



生田 政代 (40分)
公明党

災害対策基本法の改正は

問 ① 市民への周知は。

② 自力での避難が困難な高齢者などの個別避難計画の作成は。
③ 福祉避難所への直接避難は。

答 ① 早期の避難を促す対象者を明確にするため、避難情報が変わった。迅速な避難活動につながるよう市ホームページやSNS

などで周知したほか、広報ふくやまへの掲載や自治会などと連携しての周知、啓発を行っていく。
② 内閣府の取り組み指針では、優先度が高い者について、おおむね5年で作成することとされ、今年度中に市、地域、福祉・医療関係者などによる計画作成に取り組み体制を構築する。
③ 現在、直接避難は行っていないが、施行規則の改正により、受け入れ対象者を特定した福祉避難所の指定が可能となった。まずは受け入れ対象者の特定方法などを協議する。

※MICE：Meeting（ミーティング）、Incentive（報奨旅行）、Convention（会議）、Exhibition／Event（展示会／イベント）といったビジネスイベントの総称

※産業MICE：産業・技術などの分野をテーマとするMICE

※福祉避難所：高齢者や障がい者など、避難所の生活において特別な配慮が必要な方とその家族を受け入れるための避難所